

令和5年度 学校評価書(共通) 前期

校名 宇和島市立日振島小学校

1 自己評価書

教育目標	郷土に誇りと愛着を持ち、進んで未来を生き抜く力を身に付ける日振の子の育成				
基本方針	本校教育の歴史と伝統を継承し、日振島の恵まれた自然や地域のよさを知ること、誇りや愛着を持ち、自ら進んで未来社会を生き抜くための確かな力を身に付ける児童の育成を目指した学校経営を推進する。				
本年度重点目標	1 確かな学力の定着と向上 2 生徒指導の充実 3 働き方改革の推進 4 地域との連携				
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
確かな学力の定着と向上	① 全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	自校のねらいに沿って、各調査を分析し、成果と課題を把握し、具体的な対策を講じた。	・分析資料の作成	A	A
			・具体的な対策の実施	A	
	② 授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。 ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。 一人1台端末(iPad)及びEILS(えひめICT学習支援システム)を積極的に活用し、個に応じた新しい学びのあり方の推進に努めた。	・教師アンケート	A	A
			・保護者アンケート	A	
			・児童生徒アンケート	B	A
			・教師アンケート	A	
	③ 家庭学習の充実	家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート	C	C
			・保護者アンケート	B	
			・児童生徒アンケート	D	
	④ 読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート	C	D
			・保護者アンケート	D	
			・児童生徒アンケート	D	
	⑤ ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート	A	A
			・保護者アンケート	A	
			・児童生徒アンケート	A	
<p>(成果と課題)</p> <p>○研修主任を中心に児童の学力向上に努めた。主体的に学習に取り組むことができるように学習活動を工夫したり、週に1回はオンライン交流を実施し対話的活動の充実を図ったりした。結果として、全国学力・学習状況調査等において、全国平均や県平均を約10ポイント上回る結果となっている。</p> <p>●個人差はあるが、書くことに抵抗感を持っている児童が多く、自分の思いを表現する力に課題がある。家庭学習と読書活動の評価の低さが顕著である。主体的に家庭学習や読書活動に取り組んでいる児童が少なく、家庭との協働による改善が必要である。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・まず学校において読書時間を確保したり、互いにおすすめの本を紹介し合ったりして、読書活動の充実を図る。また、親子読書等、家庭との協働による活動も充実させ、児童が主体的に読書に親しめるようにする。</p> <p>・家庭学習については、振り返りにより自分の成長に気付かせたり、タブレット端末を更に活用したりして、主体的に取り組むような工夫が必要である。</p>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
生徒指導の充実	① 規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート	A	A
			・保護者アンケート	A	
			・児童生徒アンケート	B	
	② 児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。 不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。 いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート	A	A
			・保護者アンケート	A	
			・児童生徒アンケート	A	A
			・教師アンケート	A	
			・児童生徒アンケート	B	
			・保護者アンケート	A	
	③ 基本的な生活習慣の徹底	基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭との連携・協力の下、学校全体で組織的に取り組んだ。	・教師アンケート	A	A
			・児童生徒アンケート	B	
			・保護者アンケート	A	
	④ 自己肯定感 等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。 自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート	A	B
			・児童アンケート	C	
			・教師アンケート	A	
<p>(成果と課題)</p> <p>○不登校やいじめの未然防止等に努め、生徒指導上の問題はほとんどなかった。遠泳や5分間走等、自信を付けさせる活動を充実させ、自己肯定感が上がっていると感じる。</p> <p>●昨年度から改善傾向にあるが、児童の自己肯定感・自己有用感が依然として低い。自己評価や他者からの評価等、振り返りを充実させているが、意識の変容はあまり見られない。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・自分で自分を正しく評価できることはとても大切なことである。同じ活動において自己評価に違いがあれば、友達と比べることにより正しい自己評価につなげるという活動を、時と場に応じて取り入れていきたい。</p>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
働き方改革	①	ワーク・ライフ・バランス 仕事のやりがいを重視しつつ、時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指して、 教職員の意識改革に努めた。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	A C	B
	②	働きやすい環境づくり 休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	A	A
			・教師アンケート	C	C
③	他の教職員のサポート体制の充実 「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、 温かく働きやすい職場づくりに努めた。	・教師アンケート	A	A	
<p>(成果と課題) ○休業日はほぼ帰省先で時間を有効に使うことができている。時間外勤務は長い、ストレスが高く精神疾患を心配するような状況ではない。 ●一人一人の校務分掌が多く、時間外勤務の改善はなかなか難しい。人的サポートや、仕事の質や量を落とすことも難しい状況である。</p> <p>(改善策等) ・すでに可能な業務改善は行ってきているが、小さなことでも積み重ねていく。また、少しでも余裕がある時に計画を立て、見直しを持って仕事を進めていく。</p>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	①	学校運営協議会の活性化 全教職員に対して、 学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。 学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、 地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート	A	A
			・教師アンケート	A	
			・保護者アンケート	A	
・地域アンケート					
②	情報発信 家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート	A	A	
		・保護者アンケート	A		
		・地域アンケート			
③	来校・相談体制 保護者や地域の方々が来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート	A	A	
		・保護者アンケート	A		
		・地域アンケート			
<p>(成果と課題) ○総合的な学習の時間や遠泳、町探検など、様々な活動で地域の方に協力していただいた。地域の特色を生かした学習を展開することにより、他校との交流も増えた。地域全体が協力的で、アポイント等が簡略化できるのも本校の強みである。 ●来年度以降の協力体制について、今年度中に少しでも見直しを立てておかなければならない。</p> <p>(改善策等) ・オンライン交流も行っていくが、2学期には実際に交流する活動を行っていききたい。具体的には、西予市立城川中学校を訪問したり、つながりのある個人や団体を日振島文化祭に招待したりして、対面でコミュニケーションをとる機会を設定したい。</p>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満